

# スマート農業加速化実証プロジェクト

平成31年度予算概算要求額50億円(新規)

農林水産省

## 事業目的・概要

農業の成長産業化の実現に向けて、近年、技術発展の著しいロボット・AI・IoT等の先端技術を活用した「スマート農業」の社会実装を図るため、以下の取組を実施。

### 1. スマート実証農場等の整備・実証

実用化・量産化の手前にあるロボット・AI・IoT等の要素技術を、営農類型ごとに**生産から出荷まで体系的に組み立てた「スマート実証農場」を整備**しデータ収集等を行うとともに、先進的な技術体系を農業者等が見られる・試せる・体験できる場として提供します。

### 2. データ分析・解析を通じた技術の最適化

農研機構が、スマート実証農場における**実証計画やデータ収集等の助言・指導、技術面・経営面から分析・解析**を行います。分析結果を踏まえ最適な技術体系の検討を行います。

## 事業イメージ・具体例

### スマート実証農場の例(大規模水田作)

経営管理



経営管理システム

耕起・整地



自動走行トラクター

移植・直播



自動運転田植機

水管理



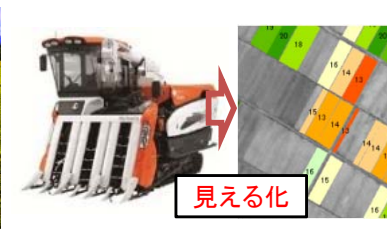
自動水管理システム

栽培管理



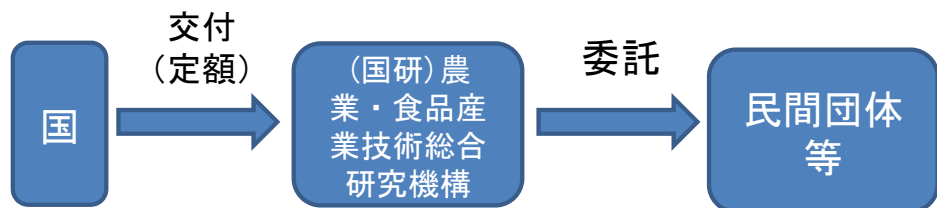
ドローンを活用した  
リモートセンシング

収穫



見える化  
収量コンバインによる適切な栽培管理

## 資金の流れ



## 期待される効果

- 先端技術導入による最適な技術体系の確立
- 農業の担い手のほぼ全てがデータを活用した農業を実践